目と耳で感じる空間体験

響景の庵

1. はじめに

日本人は古くから、かすかな音に耳を澄ませ、自然や暮らしの中で響く音と繊細に交わりながら生きてきた。
しかし、都市化が進む中で、私たちの周りは雑多な音にあふれ、本来の音の美しさがかき消されつつある。

そんな**今**だからこそ、心を解きほぐし、日本の美を感覚で味わう場が求められている。波の音が静かに響き、富士山や海を望むことができる空間——ここでは、自然と調和した音の風景が広がり、日本ならではの**「きく文化」**を体験できる。

わたしは建築の力でこの繊細な音の世界を創造し、心安らぐひとときを提供する。

2. 敷地

計画地　江の島

シャミセンガイ

1877 年、腕足類の一種であるシャミセンガイをはじめ、多くの海産動物が採集され日本最初の臨海実験所が設立された。ここは日本近代動物学発祥の地とされている。
現在では、海の魅力に加え、グルメや観光を楽しめる人気の観光スポットとなっている。

設計敷地　江の島　西浦漁港

今回設計した敷地は、江の島の仲見世商店街の脇道から行くことができる西浦漁港に位置している。
観光客で賑わう表通りとは異なり、隠れたスポットのような存在であり、静寂に満ちた落ち着いた空間が広がっている。